

公表日

2026年 2月 1日

事業所名

こぼんはうすくら 新川崎教室

保護者等数(児童数) 40名

回収数 35件(割合87.5%)

| | | チェック項目 | 評価 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--------------------------------------|----------------|--|----|---------------|-----|-------|--|---|
| | | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 26 | 6 | | | | 利用定員に対し指導訓練室等のスペースは適切に確保されており、今後も活動内容や安全面に配慮しつつ、必要に応じて器具や設備の見直しを行い、適切な環境を維持できるようにしていく。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 32 | 3 | | | イベント時の対応が手厚かった。 | 課題として職員の配置数や専門性が十分でない場合があることが挙げられるため、今後は必要な配置数の確保と専門性向上のための研修・育成の強化を図り、支援の質の向上と業務の安定化を目指す。 |
| | 3 | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設備などバリアフリー化の配慮がなされているか。 | 25 | 4 | | 6 | | 設備の点検を定期的に行い、不備や危険がないか確認しています。保護者の皆さまからのご意見も取り入れながら改善を進めていく。 |
| 適切 な 支 援 の 提 案 | 4 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか。 | 35 | | | | | 課題として子どもや保護者のニーズ・課題の分析が不十分な場合があることが挙げられるため、今後は客観的なデータや情報に基づく分析を徹底し、放課後等デイサービス計画作成に反映させることを強化し、支援の適切性と効果の向上を目指していく。 |
| | 5 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 30 | 2 | | 3 | | 課題として活動プログラムが固定化し、子どもの興味や発達に応じた柔軟な対応が十分でない場合があることが挙げられるため、今後はプログラム内容や実施方法の工夫を継続的に行うことを強化し、子どもの意欲や学習効果の向上を目指していく。 |
| | 6 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 11 | 3 | 7 | 14 | | 交流の場でも職員がそばに付き添い、お父さまが安心して参加できるようにしていく。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 7 | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 35 | | | | | |
| | 8 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 34 | 1 | | | ・利用前に日々の子どもの様子、朝登校時の様子を報告し、共通認識をもって関わっていただいている。 | 一定期間ごとに面談を行い、保護者の思いやご家庭での様子を伺いながら、支援方針を確認していく。 |
| | 9 | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 33 | 2 | | | | 不安や悩みに応じて、個別の相談に対応し、関係機関と連携してサポートにつなげる。 |
| | 10 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 29 | 2 | | 4 | | 子育ての悩みや日常の工夫を気軽に話せるよう、職員も伴走しながら交流を支援していく。 |
| | 11 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 34 | 1 | | | | 今後ともいただいた苦情やご意見は速やかに対応し、改善に活かします。必要に応じて経過や結果を丁寧にお伝えいく。 |
| | 12 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 34 | 1 | | | | |
| | 13 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 33 | 2 | | | | 定期的にブログの更新などを行っていく。 |
| 14 | 個人情報に十分注意しているか | 35 | | | | | 基本的に漏れ、流失等はないですが、個人情報管理の徹底と職員への周知・研修の強化を図り、今後とも情報漏えい防止と利用者・保護者の信頼確保を目指す。 | |
| 非 常 時 等 の 対 応 | 15 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 27 | 3 | | 5 | | 課題として緊急時対応マニュアルや防犯・感染症対応マニュアルの内容が保護者に十分周知・説明されていない場合があることが挙げられるため、今後は各マニュアルの周知・説明方法の工夫と定期的な確認を強化し、保護者理解の向上と緊急時対応力の確保を目指す。 |
| | 16 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 32 | 1 | | 2 | | 災害時の連絡方法やお迎えの流れについても、保護者の皆さまに周知し、共通理解を図っていく。 |
| 満 足 度 | 17 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 34 | 1 | | | | |
| | 18 | 事業所の支援に満足しているか。 | 34 | 1 | | | | |

公表日

2026 年 2 月 1日

事業所名

こぼんはうすくら 新川崎教室教室

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|---|----|-----|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 16 | 3 | 教室の備品整理などを行い、スペースを広くとれるようにしている。 | 定期的な定員とレイアウトを見直し、増員時の対応策を検討していく。 |
| | 2 職員の配置数は適切であるか | 16 | 3 | その時の児童の性質によって不足していると感じる時がある。 | 送迎がある15時は教室内の職員が少なくなるため、もう少し人員を確保したい。または、送迎の組み合わせ等慎重に考えていく。 |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 16 | 3 | トイレの段差など配慮は必要な場所は付き添う形で支援を行っている。 | ・トイレの段差では、職員がサポートするようにしていく。 |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 19 | | 全体ミーティングを実施できている効果が大きいです。 | 意見を出しにくい職員もいる。小グループやアンケートで意見収集の仕組みを導入検討していく。 |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 16 | 3 | 保護者等向け評価表やアンケートを活用し、意見や要望を把握する機会を設けている。 | 非常勤職員にも全体的に共有できるようにミーティング等で発信できるようにしていく。 |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 19 | | | 年2回以上更新、改善点の報告を追加。 |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 16 | 3 | 第三者評価やメンター面談等実施しながら業務改善に努めている。 | |
| | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 19 | | | 引き続き定期的に研修を行っていく。 |
| 適切な支援の提供 | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 17 | 2 | 主にニーズに合わせてその都度変更している部分もある。 | |
| | 10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 19 | | | 引き続き使用していく。 |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 19 | | | |
| | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 19 | | | |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 17 | 2 | 平日、休日、長期休暇それぞれの利用時間や子どもの生活リズムに配慮し、無理のない課題設定を行っている。 | スタッフ間で情報が共有されにくいので、課題設定時に共有シートなどを活用していく。 |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 16 | 3 | 子ども一人ひとりの発達段階や特性、体調、気持ちの状態を把握したうえで、個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成している。 | 活動計画レビューで個別・集団のバランス調整する。 |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 17 | 2 | 該当職員のみで定期的に話し合いをしているが、毎回ではない。 | 時間が短く詳細まで共有できないことがある重要事項は事前シートで確認、記録する。 |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 17 | 2 | 定期的に行っている。 | 送迎が終わるのが営業終了時間になるため、細かい振り返りが難しい。事前な打ち合わせと日報等で共有していく。 |
| | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 19 | | 日報の書式を変更し、記録を簡潔にしやすい書式に変更した。 | 特記事項などの欄を作り、情報共有をしやすくできるようにする。 |
| 18 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 19 | | | | |
| 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | 19 | | | | |

| | | | | | | | |
|----------|----|---|--------------------|---|---|--|--|
| 適切な支援の提供 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 19 | | | | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 17 | 2 | トラブル時には速やかに保護者・学校双方へ連絡を行っている。 | 連絡窓口や情報共有方法を明確化し、職員間で統一する。 | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | ※該当児童なし | | | | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 16 | 3 | 必要に応じて書面や口頭で情報共有を行っている。 | 面談や書面を通じて、より丁寧な情報共有を行っている。 | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ※該当児童なし 18歳未満のみ | | | | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 14 | 5 | 専門機関が配信している研修動画を視聴し、研修を行っている。 | 研修内容を職員間で共有し、事業所全体の支援力向上につなげる。 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 15 | 4 | 公園などで自然に交流する機会があるが、多くはない。 | 小規模・段階的な交流機会を増やし、事前の打ち合わせや振り返りを行い、安心して参加できる環境を整える。 | |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 6 | | | 該当職員のみ参加しているので、会議後全体で共有するようにする。 | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 17 | 2 | 連絡帳や送迎時の会話を通して、日々の様子を丁寧に伝えている。 | 保護者の意見や思いを丁寧に汲み取る姿勢を強化する。 | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 17 | 2 | 保護者の不安や悩みに寄り添った声かけを心がけている。 | ペアレント・トレーニングの実施機会が限定的なので、別相談や日常の関わりの中で支援を充実させ、場を設ける。 | |
| 保護者への説明等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 19 | | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 17 | 2 | 送迎時、面談時、電話などで対応している。 | 相談内容を整理・記録し、継続的な支援につなげる。 | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 19 | | | | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 19 | | | | |
| | 34 | 定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 17 | 2 | イベント行事の報告、保護者会開催などの報告等HUG、LINE、メール等で案内を送っている。 | 重要情報はメールで補足、送迎時口頭説明。 | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 19 | | | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 19 | | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか | 16 | 3 | 近隣住民への配慮を行いながら、顔の見える関係づくりを心がけている。 | 広報活動を強化、地域団体との連携を拡大予定。 | |
| | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 15 | 4 | 緊急時対応、防犯、感染症対応についてマニュアルを整備している。 | 年2回以上の訓練を実施し理解度を確認 | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 19 | | | 訓練計画を作成、参加状況を記録・評価 | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 19 | | | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 19 | | | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 19 | | | 食事準備前チェックリストを導入、研修実施 | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 19 | | | | |